アダージオMUTB

災害2割加算型
変額個人年金保険（アダージオ）

特別勘定の月次運用レポート
2024年3月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.30%の割合で資産残高から毎日控除されます。90歳開始年金原資保証特約を付加した場合は特約分の保険関係費用（資産残高に対して年率0.05%）が別途必要になり、合計で年率2.35%の割合で資産残高から毎日控除されます。ただし、マネーファンドの保険関係費用には優遇措置（上限：年間100日まで）があります。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.00%（マネーファンド MBにかかる最大の費用です。当特別勘定が投資する三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）は公社債投資信託である為、当投資信託の信託報酬に消費税は課されません。）の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
●契約管理手数料：毎年の契約応当日の前日の資産残高が200万円未満の場合、前年の契約管理手数料として年額4,800円が契約応当日に資産残高から控除されます。全部解約時の資産残高が200万円未満の場合、解約の年の契約管理手数料として一律4,800円が解約時に控除されます。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の全部解約、一部解約（ご契約または増額時から7年未満の元本総額の5%相当額までを除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%～2%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、全部解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

＊この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「契約管理手数料」や「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

（管）ORI-096

市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	3.07%	20.63%	26.72%	43.96%	38.35%
	TOPIX（東証株価指数）	3.47%	17.00%	19.16%	38.19%	41.69%
日本債券	NOMURA－BPI総合	▲ 0.11%	▲ 0.51%	0.37%	▲ 2.20%	▲ 4.98%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	4.00%	15.34%	22.00%	41.25%	69.73%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.20%	5.04%	8.29%	15.80%	17.31%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.49%	6.75%	1.22%	13.39%	36.76%

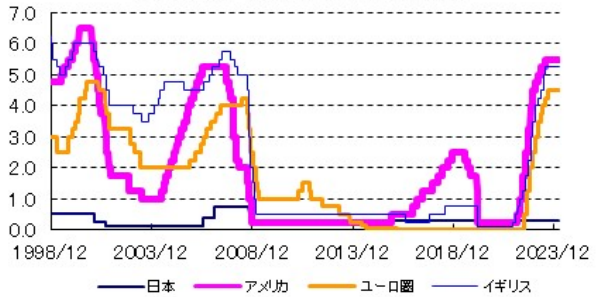
日経平均株価(円)の推移

日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移

先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移

全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

特別勘定と投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	（百万円）
	日本	外国	日本	外国					
日本株式ファンド MT	●				三菱UFJ 日本株式オープンVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	95.4%	4.6%	833
日本株式グロースファンド FIC	●				フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3＊	フィデリティ投信株式会社	95.2%	4.8%	2,833
日本株式バリューファンド MT	●				三菱UFJ システムバリューオープンVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	95.4%	4.6%	763
日本株式インデックスファンド NS	●				ニッセイ国内株式インデックスSA＊	ニッセイアセットマネジメント株式会社	95.3%	4.7%	1,651
外国株式ファンド MT		●			三菱UFJ 海外株式オープンVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	95.3%	4.7%	1,040
外国債券ファンド NS				●	ニッセイ／パトナム・グローバル債券SA＊	ニッセイアセットマネジメント株式会社	95.4%	4.6%	1,914
世界バランスファンド MT	●	●	●	●	三菱UFJ ライフプラン 50VA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	95.5%	4.5%	1,558
マネーファンド MB			●		三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	95.0%	5.0%	668

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

投資対象の投資信託	運用方針
三菱UFJ 日本株式オープンVA＊	成長力の高い銘柄や企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択し投資することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を中長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3＊	成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数、配当金込み）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。
三菱UFJ システムバリューオープンVA＊	独自に開発した「理論価格モデル」システムによって本来あるべき価格（理論株価）に対する割安度に着目し銘柄を選定することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。※1
ニッセイ国内株式インデックスSA＊	日本株式に分散投資を行い、TOPIX(東証株価指数)の動きに連動する成果を目標として運用を行います。わが国の株式市場の動きをとらえることを目標に運用を行うことを基本方針とします。
三菱UFJ 海外株式オープンVA＊	主に日本を除く世界主要国の上場株式に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に対し中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
ニッセイ／パトナム・グローバル債券SA＊	日本を除く世界主要先進国の公社債に分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ります。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る収益を追求する アクティブ運用を行います。
三菱UFJ ライフプラン 50VA＊	中長期的に信託財産の安定的な成長をめざして運用を行うことを基本とします。日本を含む世界の株式や債券等に分散投資し、収益性と安定性をバランスよく追求します。
三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

※1　2024年1月にベンチマークを変更しましたが、実質的な運用方針に変更はございません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

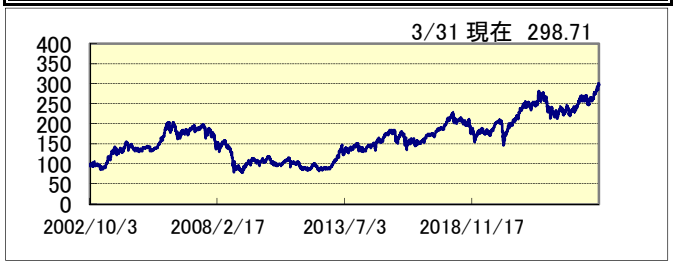
特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

《90歳開始年金原資保証特約付》

日本株式ファンド MT

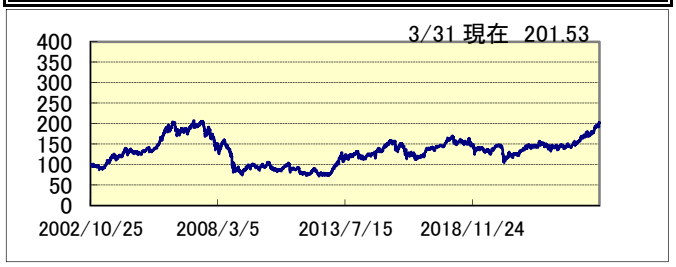
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	2.98%	13.57%	13.73%	30.23%	43.29%	185.93%

日本株式グロースファンド FIC



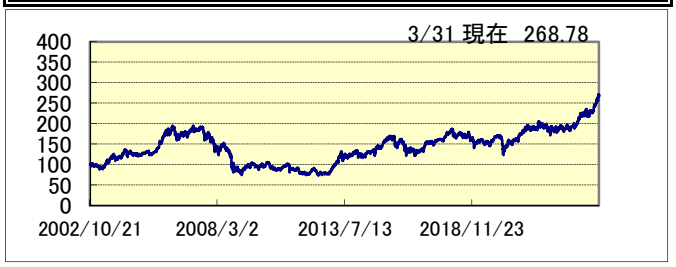
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	3.60%	13.11%	14.98%	24.37%	19.43%	198.71%

日本株式バリューファンド MT



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	3.18%	11.71%	14.67%	31.88%	38.31%	101.53%

日本株式インデックスファンド NS

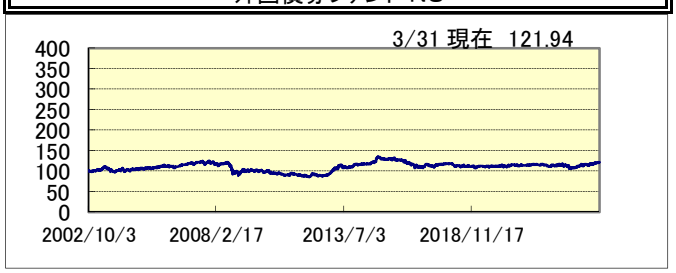


期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.13%	16.82%	18.42%	36.56%	39.96%	168.78%

外国株式ファンド MT

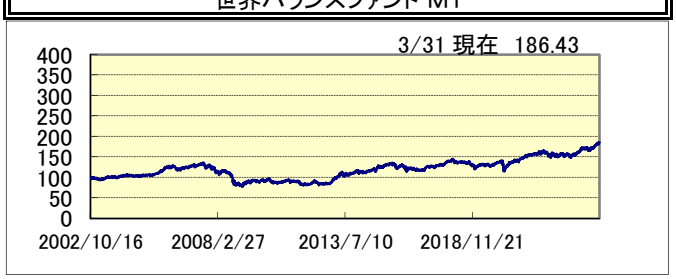
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	2.46%	15.02%	23.62%	41.99%	57.06%	283.70%

外国債券ファンド NS



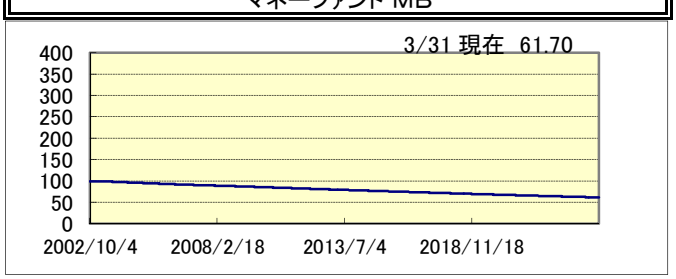
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.04%	3.48%	6.18%	11.13%	5.69%	21.94%

世界バランスファンド MT



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.48%	7.47%	9.78%	17.43%	20.63%	86.43%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−0.19%	−0.58%	−1.16%	−2.32%	−6.80%	−38.30%

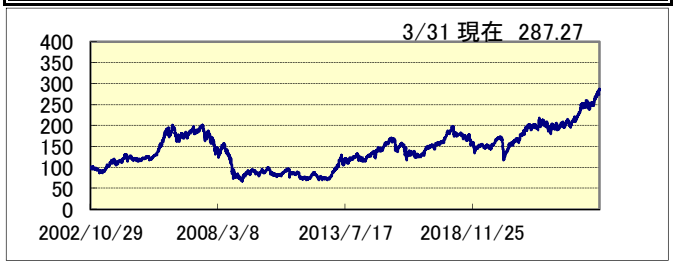
※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

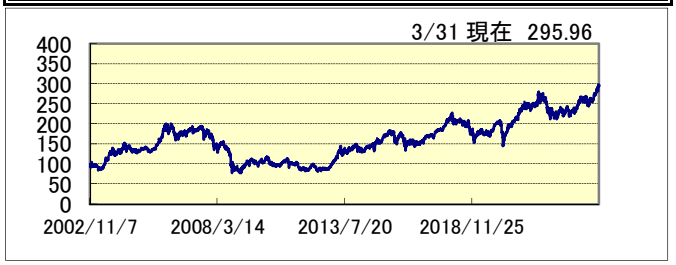
《特約無し》

日本株式ファンド MT



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	2.99%	13.58%	13.76%	30.30%	43.50%	187.27%

日本株式グロースファンド FIC

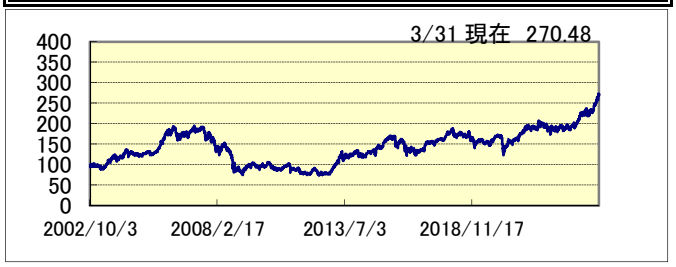


期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	3.61%	13.12%	15.01%	24.43%	19.61%	195.96%

日本株式バリューファンド MT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	3.18%	11.72%	14.70%	31.94%	38.52%	103.75%

日本株式インデックスファンド NS

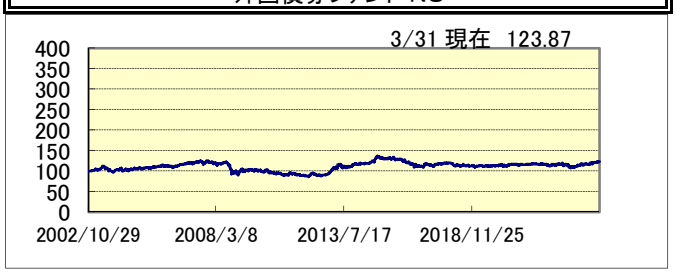


期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.13%	16.84%	18.45%	36.63%	40.17%	170.48%

外国株式ファンド MT

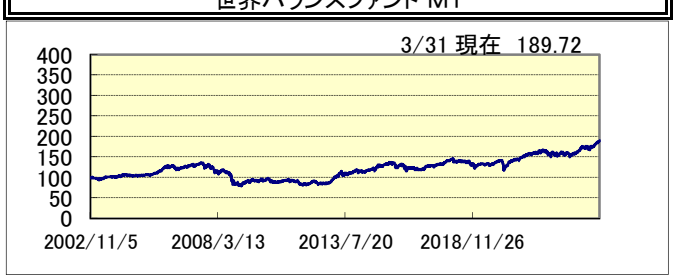
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	2.47%	15.04%	23.65%	42.06%	57.30%	292.34%

外国債券ファンド NS



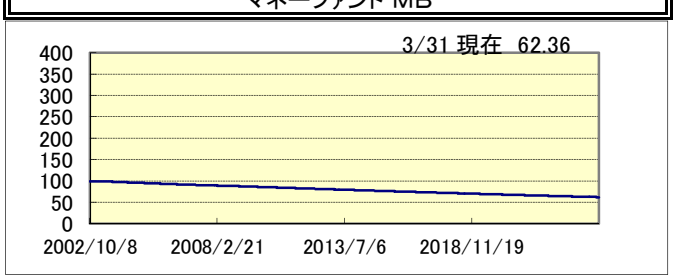
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.05%	3.50%	6.21%	11.18%	5.85%	23.87%

世界バランスファンド MT



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.48%	7.48%	9.80%	17.49%	20.81%	89.72%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−0.18%	−0.57%	−1.14%	−2.27%	−6.66%	−37.64%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式ファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 日本株式オープンVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の株式。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

成長力の高い銘柄や企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択し投資することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を中長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/国内株式型（一般型）
主要投資対象	日本の株式
運用方針	・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。 ・銘柄選択にあたっては、以下の2つの観点から行います。 ①中長期的な成長力の高い銘柄や業績改善度の大きい銘柄を選択 ②企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択 ・株式の実質組入比率は高位（通常の状態で90%以上）を基本とします。
設定日	2002年8月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月15日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	43,938円
前月末比	+1,389円
純資産総額	4.56億円

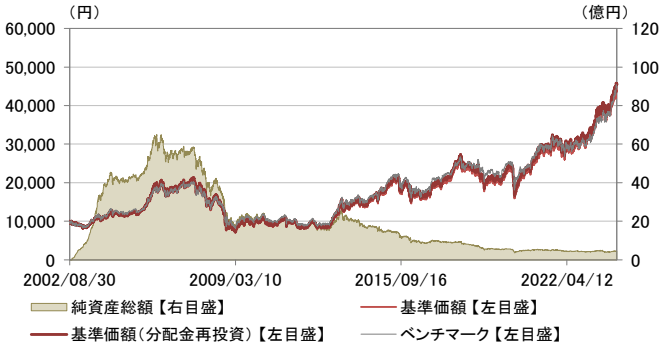
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第22期	2024/02/15	0円
第21期	2023/02/15	0円
第20期	2022/02/15	0円
第19期	2021/02/15	0円
第18期	2020/02/17	0円
第17期	2019/02/15	0円
設定来累計		600円

■資産構成

	比率
実質国内株式	96.9%
内　現物	96.9%
内　先物	0.0%
コールローン他	3.1%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。
・2023年12月29日に、当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.3%	14.7%	15.6%	34.4%	55.5%	357.2%
ベンチマーク	4.4%	18.1%	20.5%	41.3%	52.5%	350.2%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク構成比
1 電気機器	16.3%	17.4%
2 輸送用機器	11.0%	9.5%
3 サービス業	9.8%	4.5%
4 機械	6.5%	5.6%
5 情報・通信業	6.4%	7.3%
6 銀行業	6.2%	7.4%
7 卸売業	5.8%	7.4%
8 保険業	4.6%	2.7%
9 化学	4.5%	5.7%
10 食料品	3.2%	3.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 62銘柄

銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.1%	2.4%
2 日立製作所	電気機器	3.5%	1.7%
3 三菱商事	卸売業	3.4%	1.8%
4 第一三共	医薬品	2.8%	1.1%
5 トヨタ自動車	輸送用機器	2.8%	5.3%
6 自重堂	繊維製品	2.6%	―
7 ルネサスエレクトロニクス	電気機器	2.6%	0.4%
8 オリエンタルランド	サービス業	2.5%	0.7%
9 三井物産	卸売業	2.4%	1.4%
10 タチエス	輸送用機器	2.4%	0.0%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

今月の国内株式市況は、日銀が金融政策の修正を行ったものの、今後も緩和的な金融環境が継続するとの見通しを示し、金融引き締め懸念が払拭されたことなどから上昇しました。
月の前半は、政策保有株の売却などを通じた資本効率改善期待から銀行株などを中心に上昇する局面もありましたが、日銀が金融緩和政策を修正するとの懸念が高まったことなどが重石となり、一進一退で推移しました。月の後半は、日銀がマイナス金利を解除した一方で、今後も緩和的な金融環境が継続するとの見通しを示したことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）で年内の利下げ見通しに変更がなかったことを受け、米国株が上昇したことを背景に投資家心理が改善したことなどから上昇しました。月間を通してみると、東証株価指数（TOPIX）は前月末を上回る水準で取引を終えました。
今月のファンド騰落率は、ベンチマークを下回る結果となりました。業種配分効果については、繊維製品、医薬品などがプラスに寄与、不動産業、電気・ガス業などがマイナスに影響しました。銘柄選択効果については、りそなホールディングス、ジーエス・ユアサ　コーポレーションなどがプラスに寄与、大阪ソーダ、FPパートナーなどがマイナスに影響しました。今月の売買では、業績期待が高くかつ割安感のある銘柄へスイッチする方針の下、新規投資を含めて楽天グループ、川崎重工業などの組入比率を引き上げました。
欧米の金融引き締め長期化による影響の見極めには時間を要するとみていることや日銀のマイナス金利解除の決定など不安材料はあるものの、緩和的な金融環境の継続が見込まれることが下支えとなり、当面の国内株式市況については底堅い展開になると考えています。
このような認識を踏まえ、当ファンドの運用コンセプトとしているボトムアップによる銘柄選択効果を更に追求すべく、リサーチに基づく企業分析に注力し、成長性とバリュエーションを考慮した銘柄選択を行っていく方針です。（運用主担当者：長尾　衛）

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式グロースファンド FIC

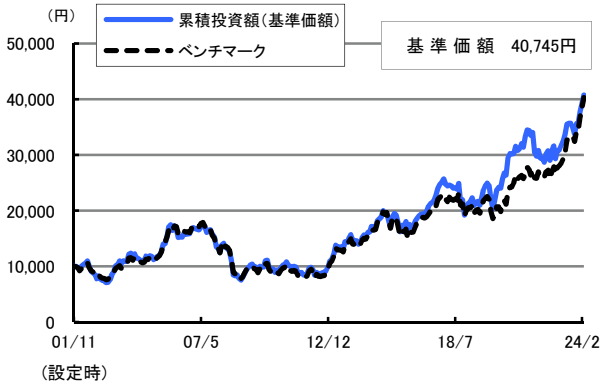
【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象
日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

設定来の運用実績　（2024年3月29日現在）



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン　（2024年3月29日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.93%	14.26%	16.98%	28.36%	29.10%	307.45%
ベンチマーク	4.44%	18.14%	20.55%	41.34%	52.53%	303.09%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：TOPIX（配当込）

＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 18期(2019.12.02) ----------	0円
第 19期(2020.11.30) ----------	0円
第 20期(2021.11.30) ----------	0円
第 21期(2022.11.30) ----------	0円
第 22期(2023.11.30) ----------	0円

純資産総額	1,475.5 億円	（2024年3月29日現在）

コメント　（2024年3月29日現在）

当月の東京株式市場は、日銀のマイナス金利政策が解除されてデフレ脱却期待が高まり、日経平均株価は史上最高値を更新しました。
前月からの上昇の勢いを受け継ぎ、日経平均株価は月初に史上初となる4万円の大台に到達しました。その後は米半導体株の下落や、日銀の政策変更を睨んで円高が進んだことなどがマイナス要因となって反落を強いられましたが、春闘で昨年よりも高い賃上げ率が確認されてデフレ脱却期待が高まると、市場で日銀の政策転換の織り込みが進み、株価は力強く上昇しました。日銀はマイナス金利や長短金利操作、上場投資信託買い入れなどの政策の終了を決定した上で、緩和的な金融環境を継続すると強調した一方、米連邦準備制度理事会は年内3回の利下げを行う方針を維持し、日米の金融政策決定会合が大方の事前想定通りに通過したことが株価を一段と押し上げました。日経平均株価は一時41,000円台に乗せるなど、終値で史上最高値を再び更新した後、月末にかけては利益確定売りや3月期決算企業の配当落ちの影響などからやや調整しましたが、そのまま4万円台を維持して月を終えました。
月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が＋4.44%、日経平均株価は＋3.07%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

組入上位10銘柄（マザーファンド・ベース）　（2024年2月29日現在）

	銘 柄	業 種	比率
1	三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	4.0%
2	ｷｰｴﾝｽ	電気機器	3.9%
3	東京ｴﾚｸﾄﾛﾝ	電気機器	3.8%
4	ｿﾆｰｸﾞﾙｰﾌﾟ	電気機器	3.3%
5	三井住友ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	3.1%
6	日立製作所	電気機器	3.1%
7	伊藤忠商事	卸売業	3.0%
8	信越化学工業	化学	2.9%
9	ﾄﾖﾀ自動車	輸送用機器	2.4%
10	東京海上ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	保険業	2.1%

（ 組入銘柄数 ： 178 ）　上位10銘柄合計　31.6%
（対純資産総額比率）

ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース）　（2024年2月29日現在）

資産別組入状況

株式	99.0%
新株予約権証券(ﾜﾗﾝﾄ)	－
投資信託・投資証券	－
現金・その他	1.0%

市場別組入状況

東証プライム	96.4%
東証スタンダード	2.0%
東証グロース	0.5%
その他市場	－

組入上位5業種

電気機器	22.1%
銀行業	8.5%
化学	7.9%
輸送用機器	7.5%
卸売業	6.3%

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種は東証33業種に準じて表示しています。
＊未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式バリューファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ システムバリューオープンVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の株式。主に三菱UFJ システムバリューマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

独自に開発した「理論価格モデル」システムによって本来あるべき価格（理論株価）に対する割安度に着目し銘柄を選定することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/国内株式型（一般型）
主要投資対象	日本の株式
運用方針	①日本の株式を主要投資対象とし、本来あるべき価格（理論価格）に対する割安度に着目した銘柄選択を行うバリュー型のファンドです。 ②東証株価指数（TOPIX）（配当込み）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。 ③各銘柄の理論株価および理論株価に対する割安度の測定については、三菱UFJ信託銀行グループが独自に開発した「理論株価モデル」を活用します。 ④ポートフォリオの構築にあたっては、割安度を最大にしつつ、業種構成や規模構成など割安度以外の要素についてはベンチマークと同程度となるように、最適化を図ります。 ⑤株式の実質組入比率は高位（通常の状態で90%以上）を維持します。
設定日	2002年8月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年3月15日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	29,966円
前月末比	+1,002円
純資産総額	3.92億円

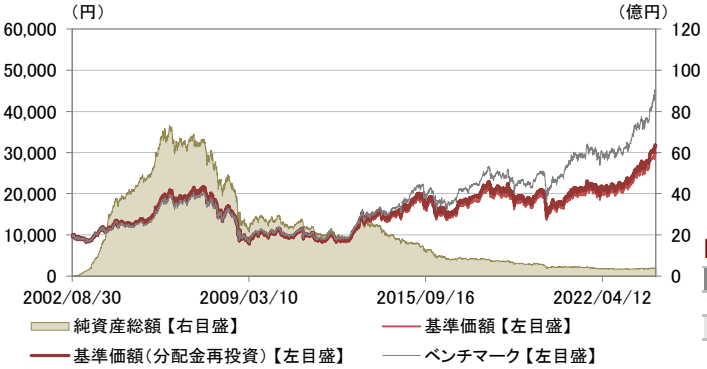
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第22期	2024/03/15	0円
第21期	2023/03/15	0円
第20期	2022/03/15	0円
第19期	2021/03/15	0円
第18期	2020/03/16	0円
第17期	2019/03/15	0円
設定来累計		800円

■資産構成

	比率
実質国内株式	95.9%
内　現物	95.9%
内　先物	0.0%
コールローン他	4.1%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。
・2024年1月31日に、当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.5%	12.7%	16.5%	36.2%	50.2%	216.9%
ベンチマーク	4.4%	18.1%	20.5%	41.3%	52.5%	350.2%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	サービス業	15.4%	4.5%
2	銀行業	8.8%	7.4%
3	機械	8.5%	5.6%
4	化学	8.3%	5.7%
5	情報・通信業	6.7%	7.3%
6	食料品	6.1%	3.1%
7	電気機器	6.0%	17.4%
8	小売業	5.5%	4.2%
9	卸売業	5.3%	7.4%
10	輸送用機器	4.5%	9.5%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 71銘柄

	銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	日本たばこ産業	食料品	4.0%	0.6%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.9%	1.6%
3	小松製作所	機械	3.8%	0.5%
4	信越化学工業	化学	3.5%	1.5%
5	三井住友トラスト・ホールディングス	銀行業	2.9%	0.3%
6	日本特殊陶業	ガラス・土石製品	2.9%	0.1%
7	ZOZO	小売業	2.6%	0.1%
8	東ソー	化学	2.5%	0.1%
9	いすゞ自動車	輸送用機器	2.4%	0.2%
10	大和工業	鉄鋼	2.4%	0.0%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

独自の理論株価モデルで算出される割安度が高い銘柄を多く組み入れつつ、業種構成や規模構成などの要素についてはベンチマーク（東証株価指数（TOPIX）（配当込み））と過度にカイ離しないようにポートフォリオを構築し運用しました。

3月のパフォーマンスは、運用方針に基づき組み入れた銘柄の中で日本特殊陶業、ZOZO、三井住友トラスト・ホールディングス等の銘柄がプラスに寄与したものの、協和キリン、商船三井、日本郵船等の銘柄がマイナスに影響したことにより、ファンド全体ではベンチマークを下回りました。

今後におきましては、個別銘柄ベースでの業績予想や株価水準が大きく変化した場合には、割安度を再算出し、割安度を維持するために銘柄入替を行う方針です。（運用責任者：加納　良樹）

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式インデックスファンド NS

【特別勘定が投資する投資信託】
ニッセイ国内株式インデックスSA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
ニッセイアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
東京証券取引所上場株式。主にニッセイ国内株式インデックス マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
日本株式に分散投資を行い、TOPIX（東証株価指数）の動きに連動する成果を目標として運用を行います。わが国の株式市場の動きをとらえることを目標に運用を行うことを基本方針とします。

2024年3月29日現在

＜運用の特徴＞
TOPIXをベンチマークとし、当該ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
運用効率向上のため、ファミリーファンド方式を活用し、マザーファンドで現物株式の運用を行います。

＜設定来の運用実績＞

※上記のグラフは設定日を100として、指数化したものです。
※基準価額の算出にあたっては信託報酬を控除してあります。

＜騰落率＞

	実績	ベンチマーク
過去1ヶ月	4.42%	3.47%
過去2ヵ月	9.55%	8.53%
過去3ヵ月	18.09%	17.00%
過去6ヵ月	20.47%	19.16%
過去1年	41.15%	38.19%
過去2年	49.04%	42.24%
過去3年	51.83%	41.69%
過去10年	181.04%	130.16%
設定来	277.60%	163.62%

注）税引前分配金再投資基準価額の騰落率です。

＜組入上位10業種：東証33業種区分（マザーファンド）＞

	業種	組入比率	ベンチマーク	差異
1	電気機器	17.4%	17.4%	-0.0%
2	輸送用機器	9.5%	9.5%	0.0%
3	卸売業	7.5%	7.4%	0.1%
4	銀行業	7.4%	7.4%	-0.0%
5	情報・通信業	7.2%	7.3%	-0.0%
6	化学	5.7%	5.7%	0.0%
7	機械	5.6%	5.6%	-0.0%
8	サービス業	4.5%	4.5%	0.0%
9	医薬品	4.2%	4.3%	-0.0%
10	小売業	4.2%	4.2%	-0.0%

（対組入株式評価額比）

＜組入比率＞

	組入比率
マザーファンド	100.0%
先物	-
現金その他	0.0%
合計	100.0%

（対純資産総額比）

純資産総額	99億円

＜組入上位10銘柄（マザーファンド）＞

	銘柄	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.3%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.4%
3	ソニーグループ	電気機器	2.3%
4	東京エレクトロン	電気機器	2.1%
5	三菱商事	卸売業	1.9%
6	キーエンス	電気機器	1.8%
7	日立製作所	電気機器	1.7%
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.6%
9	信越化学工業	化学	1.5%
10	三井物産	卸売業	1.4%

（対組入株式評価額比）

＜資産構成比率（マザーファンド）＞

		組入比率
国内株式		100.1%
	うち現物	97.6%
	うち先物	2.5%
現金その他		-0.1%
合計		100.0%

（対純資産総額比）

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国株式ファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 海外株式オープンVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を除く世界の株式。主に三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を除く世界主要国の上場株式に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に対し中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/国際株式型（一般型）
主要投資対象	日本を除く世界主要国の株式
運用方針	・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。 ・カントリーアロケーションと銘柄選択の双方におけるアクティブ戦略により、超過収益の獲得をめざします。 ・実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。 ・株式の実質組入比率は高位（通常の状態で90%以上）を基本とします。
設定日	2002年8月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年12月15日(休業日の場合、翌営業日)

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	64,593円
前月末比	+1,726円
純資産総額	9.35億円

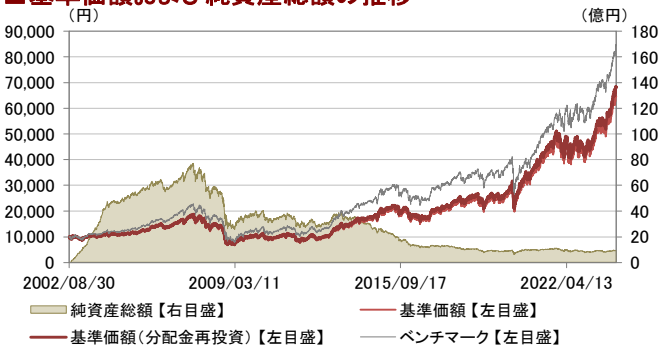
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第22期	2023/12/15	0円
第21期	2022/12/15	0円
第20期	2021/12/15	0円
第19期	2020/12/15	0円
第18期	2019/12/16	0円
第17期	2018/12/17	0円
設定来累計		800円

■資産構成

	比率
実質外国株式	95.5%
内　現物	95.5%
内　先物	0.0%
コールローン他	4.5%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
・2023年12月29日に、当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.7%	16.2%	26.0%	46.9%	70.8%	582.3%
ベンチマーク	4.2%	15.7%	22.8%	43.5%	77.7%	747.6%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	77.0%
2	イギリス	3.5%
3	オランダ	3.0%
4	フランス	2.4%
5	ドイツ	2.0%
6	カナダ	1.7%
7	香港	1.7%
8	オーストラリア	1.2%
9	イタリア	1.0%
10	デンマーク	0.9%

■組入上位10業種

	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	14.7%
2	半導体・半導体製造装置	8.9%
3	メディア・娯楽	7.9%
4	一般消費財・サービス流通・小売り	7.4%
5	金融サービス	6.8%
6	医薬品・バイオテクノ・ライフ	6.2%
7	資本財	5.6%
8	素材	4.6%
9	ヘルスケア機器・サービス	4.0%
10	食品・飲料・タバコ	3.9%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 79銘柄

	銘柄	国・地域	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.5%	4.9%
2	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	4.7%	2.8%
3	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	3.7%	1.8%
4	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.6%	3.7%
5	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	3.1%	0.5%
6	COSTAR GROUP INC	アメリカ	不動産管理・開発	2.7%	0.1%
7	HEICO CORP-CLASS A	アメリカ	資本財	2.4%	0.0%
8	ROPER TECHNOLOGIES INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.3%	0.1%
9	INTUITIVE SURGICAL INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.2%	0.2%
10	SERVICENOW INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.2%	0.3%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

海外株式市況は上昇しました。
米連邦公開市場委員会（FOMC）において、堅調な経済見通しが示された一方で、年内の利下げ姿勢が変わらなかったことが好感され、株価は上昇しました。
外国為替市況については、円に対して米ドルは上昇（円安）しました。
4月は1-3月期の決算発表が始まり、企業業績の見通しから示唆される景気動向やインフレ見通しなどが注目されます。
このような環境のもと、投資方針は、引き続き個別銘柄選択では、株価に割安感があり、独自の成長テーマを持った銘柄に注目しています。投資国配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアともにニュートラルとします。（運用主担当者：柳原　武士）

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS（世界産業分類基準）で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard（"GICS"）は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券ファンド NS

【特別勘定が投資する投資信託】
ニッセイ/パトナム・グローバル債券SA（適格機関投資家限定）
【運用会社】
ニッセイアセットマネジメント株式会社
【運用外部委託会社】
ザ・パトナム・アドバイザリー・カンパニー・エルエルシー

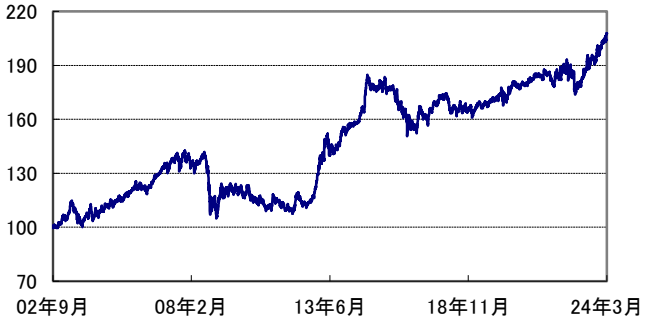
主要投資対象
日本を除く世界各国の各種公社債。主にニッセイ/パトナム・海外債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
日本を除く世界主要先進国の公社債に分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ります。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る収益を追求するアクティブ運用を行います。

2024年3月29日現在

＜運用の特徴＞
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとし、当該ベンチマークを中長期的に上回る収益の獲得を目指します。
運用効率向上のため、ファミリーファンド方式を活用し、マザーファンドで現物債券の運用を行います。

＜運用概況＞
当月の米長期金利は前月から小幅に低下しました。上旬はパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の議会証言で市場の利下げ織り込みに対するけん制が見られなかったことや、2月の米サプライマネジメント協会（ISM）非製造業景況感指数が市場予想を下振れたことなどを受けて、FRBの利下げ観測が高まり、金利は低下基調で推移しました。しかし、中旬にかけて2月の米消費者物価指数（CPI）や米卸売物価指数（PPI）の伸びが市場予想を上回り、インフレの粘着性を示したため、金利は上昇に転じました。下旬にかけては米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催され、公表された参加者の政策金利見通し（ドットチャート）が上方修正されたものの、パウエルFRB議長の記者会見が金融緩和に前向きな姿勢であったことを受けて、金利は再び低下基調で推移しました。米長期金利は月末時点で4.20%となりました。
当月の欧州（独）長期金利は前月から低下しました。上旬は米金利の低下に追随したことや、欧州中央銀行（ECB）理事会後に公表された経済予想において物価見通しが下方修正されたことなどから、金利低下が続きました。中旬にかけては米金利の上昇に伴い、欧州金利は上昇基調に転じました。下旬にかけてはS＆Pグローバルが公表する3月のユーロ圏のHCOB総合購買担当者景気指数（PMI）が発表され、欧州においてサービス業が改善傾向であることが示されたものの、製造業が低迷していることなどを受けて、金利は再び低下しました。月末にかけては欧州の複数の国で2月のCPIが発表されましたが、スペインのコア指数が低下したことを受けて、金利は低下基調で推移しました。欧州（独）長期金利は月末時点で2.30%となりました。
当月の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、ベンチマーク対比でやや短めに調整しました。国・地域別配分は、ベンチマーク対比でアメリカ、イギリス等を多め、ドイツ等を少なめとしました。ベンチマーク対比の通貨配分は、前月末との比較ではイギリスポンド等を引き上げ、カナダドル等を引き下げました。

＜設定来の運用実績＞


注）上記のグラフは設定日を100として、指数化したものです。
基準価額の算出にあたっては信託報酬を控除してあります。

＜騰落率＞

	実績	ベンチマーク
過去1ヶ月	1.27%	1.20%
過去2ヶ月	2.48%	2.46%
過去3ヶ月	4.21%	5.04%
過去6ヶ月	7.62%	8.29%
過去1年	14.11%	15.80%
過去2年	12.27%	14.36%
過去3年	13.78%	17.31%
設定来	107.57%	149.58%

注）税引前分配金再投資基準価額の騰落率です。

＜組入上位10カ国（マザーファンド）＞

	国	比率	ベンチマーク	差異
1	アメリカ	48.9%	46.9%	2.0%
2	フランス	8.2%	8.1%	0.1%
3	イタリア	7.0%	7.4%	-0.3%
4	イギリス	6.2%	5.2%	1.0%
5	スペイン	4.7%	4.9%	-0.2%
6	ドイツ	3.8%	6.3%	-2.5%
7	オランダ	2.4%	1.5%	0.9%
8	オーストラリア	2.2%	1.4%	0.8%
9	ベルギー	2.0%	1.8%	0.2%
10	カナダ	1.7%	2.0%	-0.3%

注）国にはこれに準ずる地域区分を含みます。

＜組入比率＞

	組入比率
マザーファンド	100.0%
先物	-
現金その他	0.0%
合計	100.0%

純資産総額	498百万円

＜資産構成比率（マザーファンド）＞

	組入比率
外国債券	93.1%
うち現物	93.1%
うち先物	-
現金その他	6.9%
合計	100.0%

（対純資産総額比）

＜デュレーション（マザーファンド）＞

実績	5.82年
ベンチマーク	6.45年

＜平均終利（マザーファンド）＞

実績	3.75%
ベンチマーク	3.76%

＜今後の運用方針＞
米国経済については、2023年10－12月期の実質国内総生産（GDP）成長率（確定値）は、年率換算で前期比＋3.4%と、6四半期連続のプラス成長となりました。堅調な労働市場などが下支えとなり、景気は全体として持ち直しの動きが続く見通しです。金融政策については、当月に開催されたFOMCにおいて政策金利の据え置きを決定しました。パウエルFRB議長は利下げの可能性を示唆したものの、「利下げのタイミングについては、データ次第」と発言しており、引き続き今後の動向を注視していきます。
欧州経済については、ユーロ圏の2023年10－12月期の実質域内GDP成長率（確定値）は、前期比で横ばいとなりましたが、マイナス成長となった国もあり、状況については引き続き注意が必要です。金融政策については、ECBは3月の理事会において、4会合連続で政策金利の据え置きを決定しており、引き続き動向を注視していきます。
今後の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、ベンチマーク対比で現在はやや短めに調整していますが、市場動向に応じて調整します。国・地域別配分は、ベンチマーク対比で現在はアメリカ、イギリス等を多め、ドイツ等を少なめとしていますが、状況を見極めつつ調整します。通貨配分は、現在はベンチマーク対比で米ドル等を多め、カナダドル等を少なめの組み入れとしていますが、機動的に調整します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ ライフプラン 50VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針
中長期的に信託財産の安定的な成長をめざして運用を行うことを基本とします。日本を含む世界の株式や債券等に分散投資し、収益性と安定性をバランスよく追求します。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/バランス型
主要投資対象	国内株式、海外株式、国内債券、海外債券、短期金融資産
運用方針	■資産配分の変更 各資産の市場見通しに基づき、相対的な魅力度を勘案の上、標準組入比率から一定の範囲内で資産配分の変更を行うことにより、リスク分散にも留意した資産構成を目指します。 ■標準組入比率と変更範囲 国内株式30%（±5%） 国内債券35%（±10%）海外株式20%（±5%）海外債券10%（±5%）短期金融資産5% ■ベンチマーク 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）30%、NOMURA－BPI＜総合＞（国内債券投資収益指数）35%、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）20%、FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）10%、有担保コール（翌日物）5%を組み合わせた合成指数をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。
設定日	2002年8月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年12月15日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	29,201円
前月末比	+492円
純資産総額	7.23億円

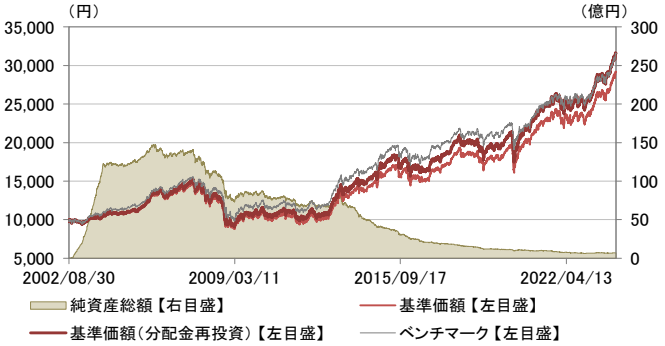
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第22期	2023/12/15	0円
第21期	2022/12/15	0円
第20期	2021/12/15	0円
第19期	2020/12/15	0円
第18期	2019/12/16	0円
第17期	2018/12/17	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	基本資産配分	比率
国内株式	30.0%	31.1%
海外株式	20.0%	20.7%
国内債券	35.0%	31.5%
海外債券	10.0%	10.9%
コールローン他	5.0%	5.8%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
・2023年12月29日に、当ファンドの株式のベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.7%	8.4%	11.4%	20.8%	30.3%	216.2%
ベンチマーク	2.2%	8.7%	11.4%	20.4%	28.0%	215.8%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■運用担当者コメント

3月の株式市況は国内、米国、英国で上昇しました。金利は国内で上昇し、米国、ドイツで低下しました。また、為替は対円でドルが上昇し、ユーロが横ばいとなりました。
世界経済は、2022年以降の欧米中銀主導による金融引き締めの効果が景気を下押ししつつも、底堅い成長速度を維持するとみています。米国では家計の過剰貯蓄解消や金利負担増加に伴い個人消費が鈍化する一方、安定した雇用環境等が景気を下支えるとみています。日本では内需低迷で成長率が伸び悩むものの、世界的に景気軟着陸へ向かう中で円安効果等による企業業績の回復は続くとみています。株式市況は、米連邦準備制度理事会(FRB)による累積利上げの景気下押し効果が重しとなり得ます。もっとも、インフレ圧力緩和が続くなか、米国経済が所得効果等で景気後退に至る可能性が低い点や、米FRBが年内の利下げ実施を示唆している点などに支えられるとみています。国内株式は日銀の金融政策正常化に伴う影響への懸念はありますが、東証が推進する資本効率改善要請への期待感や日米金利差に伴う円安ドル高等を背景とした業績改善効果などが株価をサポートするとみています。当月は国内株式と海外株式、海外債券のオーバーウェイト幅、国内債券のアンダーウェイト幅を共に維持しました。今後も市況変動に応じ機動的に対処する方針です。（運用責任者：加納　良樹）

■組入通貨

通貨	比率
1 日本円	67.6%
2 米ドル	22.9%
3 ユーロ	5.1%
4 英ポンド	1.4%
5 カナダドル	0.6%
その他	2.5%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・組入通貨比率は、為替予約等を含めた実質的な比率です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ ライフプラン 50VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

中長期的に信託財産の安定的な成長をめざして運用を行うことを基本とします。日本を含む世界の株式や債券等に分散投資し、収益性と安定性をバランスよく追求します。

三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド

■基準価額の推移

・基準価額、ベンチマーク（東証株価指数（TOPIX）（配当込み））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

今月の国内株式市況は、日銀が金融政策の修正を行ったものの、今後も緩和的な金融環境が継続するとの見通しを示し、金融引き締め懸念が払拭されたことなどから上昇しました。
月の前半は、政策保有株の売却などを通じた資本効率改善期待から銀行株などを中心に上昇する局面もありましたが、日銀が金融緩和政策を修正するとの懸念が高まったことなどが重石となり、一進一退で推移しました。月の後半は、日銀がマイナス金利を解除した一方で、今後も緩和的な金融環境が継続するとの見通しを示したことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）で年内の利下げ見通しに変更がなかったことを受け、米国株が上昇したことを背景に投資家心理が改善したことなどから上昇しました。月間を通してみると、東証株価指数（TOPIX）は前月末を上回る水準で取引を終えました。
今月のファンド騰落率は、ベンチマークを下回る結果となりました。業種配分効果については、繊維製品、医薬品などがプラスに寄与、不動産業、電気・ガス業などがマイナスに影響しました。銘柄選択効果については、りそなホールディングス、ジーエス・ユアサ　コーポレーションなどがプラスに寄与、大阪ソーダ、FPパートナーなどがマイナスに影響しました。今月の売買では、業績期待が高くかつ割安感のある銘柄へスイッチする方針の下、新規投資を含めて楽天グループ、川崎重工業などの組入比率を引き上げました。
欧米の金融引き締め長期化による影響の見極めには時間を要するとみていることや日銀のマイナス金利解除の決定など不安材料はあるものの、緩和的な金融環境の継続が見込まれることが下支えとなり、当面の国内株式市況については底堅い展開になると考えています。
このような認識を踏まえ、当ファンドの運用コンセプトとしているボトムアップによる銘柄選択効果を更に追求すべく、リサーチに基づく企業分析に注力し、成長性とバリュエーションを考慮した銘柄選択を行っていく方針です。（運用主担当者：長尾　衛）

三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド

■基準価額の推移

・基準価額、ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

海外株式市況は上昇しました。
米連邦公開市場委員会（FOMC）において、堅調な経済見通しが示された一方で、年内の利下げ姿勢が変わらなかったことが好感され、株価は上昇しました。
外国為替市況については、円に対して米ドルは上昇（円安）しました。
4月は1-3月期の決算発表が始まり、企業業績の見通しから示唆される景気動向やインフレ見通しなどが注目されます。
このような環境のもと、投資方針は、引き続き個別銘柄選択では、株価に割安感があり、独自の成長テーマを持った銘柄に注目しています。投資国配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアともにニュートラルとします。（運用主担当者：柳原　武士）

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.3%	15.0%	16.4%	36.1%	60.5%	459.7%
ベンチマーク	4.4%	18.1%	20.5%	41.3%	52.5%	348.3%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	電気機器	16.4%	17.4%
2	輸送用機器	11.0%	9.5%
3	サービス業	9.8%	4.5%
4	機械	6.5%	5.6%
5	情報・通信業	6.4%	7.3%
6	銀行業	6.2%	7.4%
7	卸売業	5.8%	7.4%
8	保険業	4.7%	2.7%
9	化学	4.5%	5.7%
10	食料品	3.2%	3.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 62銘柄

	銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.1%	2.4%
2	日立製作所	電気機器	3.5%	1.7%
3	三菱商事	卸売業	3.4%	1.8%
4	第一三共	医薬品	2.9%	1.1%
5	トヨタ自動車	輸送用機器	2.8%	5.3%
6	自重堂	繊維製品	2.6%	―
7	ルネサスエレクトロニクス	電気機器	2.6%	0.4%
8	オリエンタルランド	サービス業	2.5%	0.7%
9	三井物産	卸売業	2.4%	1.4%
10	タチエス	輸送用機器	2.4%	0.0%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.8%	16.6%	26.6%	48.4%	75.9%	736.9%
ベンチマーク	4.2%	15.7%	22.8%	43.5%	77.7%	747.6%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	77.2%
2	イギリス	3.5%
3	オランダ	3.0%
4	フランス	2.4%
5	ドイツ	2.0%
6	カナダ	1.8%
7	香港	1.7%
8	オーストラリア	1.2%
9	イタリア	1.0%
10	デンマーク	0.9%

■組入上位10業種

	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	14.8%
2	半導体・半導体製造装置	8.9%
3	メディア・娯楽	8.0%
4	一般消費財・サービス流通・小売り	7.4%
5	金融サービス	6.9%
6	医薬品・バイオテクノ・ライフ	6.2%
7	資本財	5.6%
8	素材	4.6%
9	ヘルスケア機器・サービス	4.0%
10	食品・飲料・タバコ	3.9%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 79銘柄

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.6%
2	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	4.7%
3	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	3.7%
4	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.6%
5	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	3.1%
6	COSTAR GROUP INC	アメリカ	不動産管理・開発	2.7%
7	HEICO CORP-CLASS A	アメリカ	資本財	2.4%
8	ROPER TECHNOLOGIES INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.3%
9	INTUITIVE SURGICAL INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.2%
10	SERVICENOW INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.2%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ ライフプラン 50VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

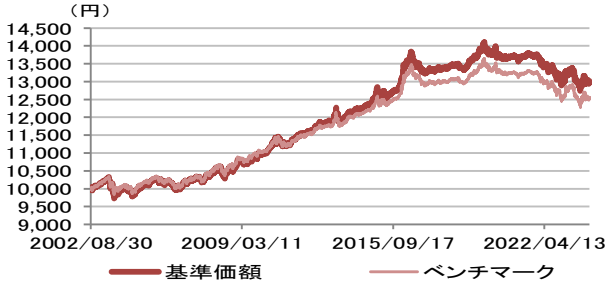
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

中長期的に信託財産の安定的な成長をめざして運用を行うことを基本とします。日本を含む世界の株式や債券等に分散投資し、収益性と安定性をバランスよく追求します。

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク（NOMURA－BPI＜総合＞（国内債券投資収益指数））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

3月の国内金利は日銀によるマイナス金利政策解除などを背景に、短期ゾーンから5年ゾーンにかけては概ね横ばいから小幅低下、5年ゾーン以降は上昇となりました。月末の10年国債利回りは0.73%近辺となっています。また、事業債の国債とのスプレッド（利回り格差）は縮小しました。実際の運用においては、ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比中立で調整しました。また、一般債については事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持しました。
国内景気は一部に弱めの動きもみられますが緩やかに回復しています。輸出や生産は、海外経済の回復ペースの鈍化の影響を受けつつも横ばい圏内の動きとなっています。また、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも底堅く推移しています。しかしながら、海外の経済・物価動向など懸念材料も多く、資源価格の動向などの問題もあり景気先行きの不確実性は依然として高いものと思われます。国内債券相場は、海外金利動向、物価動向、為替動向などを睨みながら神経質な展開を予想します。国内事業債のスプレッドについてはもみ合いでの推移になるものと思われます。以上の見通しの下、デュレーションは当面ベンチマーク対比中立を基本にリスク度合いを調整し、国債以外の一般債は事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。（運用主担当者：大沼 克至）

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−0.1%	−0.4%	0.4%	−2.0%	−4.9%	29.9%
ベンチマーク	−0.1%	−0.5%	0.4%	−2.2%	−5.0%	25.4%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	0.9%
直接利回り	0.8%
デュレーション	8.8

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	60.6%
AA格	20.2%
A格	16.5%
BBB格	0.7%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 147銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第363回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2031/06/20	4.0%
2	第163回利付国債（5年）	国債	0.4000%	2028/09/20	3.1%
3	第186回利付国債（20年）	国債	1.5000%	2043/09/20	3.0%
4	第11回ロイズ・バンキング・グループ期限前償還条項付	円建外債	1.3520%	2029/05/25	2.8%
5	第364回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2031/09/20	2.6%
6	第361回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2030/12/20	2.4%
7	第166回利付国債（20年）	国債	0.7000%	2038/09/20	2.3%
8	第370回利付国債（10年）	国債	0.5000%	2033/03/20	2.2%
9	第183回利付国債（20年）	国債	1.4000%	2042/12/20	2.2%
10	第77回利付国債（30年）	国債	1.6000%	2052/12/20	2.1%

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

■基準価額の推移

・基準価額、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.3%	4.6%	7.8%	14.8%	17.0%	188.0%
ベンチマーク	1.2%	5.0%	8.3%	15.8%	17.3%	160.1%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	3.9%
直接利回り	2.5%
デュレーション	7.4

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	49.0%
2	イタリア	8.4%
3	フランス	6.4%
4	スペイン	5.6%
5	イギリス	5.3%
6	中国	4.4%
7	スウェーデン	2.6%
8	国際機関	2.4%
9	ポーランド	2.0%
10	ベルギー	1.9%

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	60.4%
AA格	14.1%
A格	12.8%
BBB格	9.6%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

・格付は、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

【市況動向】
当月の米独長期金利は低下しました。
米連邦公開市場委員会（FOMC）後に発表されたFOMC参加者の政策金利見通しにおいて、2024年の利下げ幅が維持されたことや、欧州中央銀行（ECB）会合にてインフレ見通しが下方修正されたことなどを背景に、米独長期金利は低下しました。為替市場では、米ドルは対円で上昇し、ユーロは対円で概ね横ばいとなりました。日銀がマイナス金利政策を解除したものの金融緩和姿勢を強調したことなどが米ドルとユーロの上昇要因となった一方、ECBのインフレ見通し引き下げなどがユーロの下落要因となりました。月を通してみると、米ドルは対円で上昇し、ユーロは対円で概ね横ばいとなりました。投資行動としては、債券デュレーションは欧州をベンチマーク比長め、米国を同短めで維持しました。欧州圏の国別投資方針は、ドイツとフランスをベンチマーク比少なめ、イタリアとスペインを同多めで維持しました。カントリーアロケーション（通貨配分）は、米ドルとスウェーデンクローナをベンチマーク比多め、ユーロやカナダドル・中国元を同少なめで維持し、ポーランドズロチを同中立から多めでコントロールしました。
【今後の運用方針】
債券デュレーションは現行の方針を基本に機動的に調整します。通貨配分では、必要に応じて現行比率の調整を行います。（運用主担当者：松津　大輔）

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 79銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1	1.875 T-NOTE 290228	国債	1.8750%	2029/02/28	アメリカ	10.1%
2	1.25 T-NOTE 261130	国債	1.2500%	2026/11/30	アメリカ	7.4%
3	2.875 T-NOTE 280815	国債	2.8750%	2028/08/15	アメリカ	5.6%
4	4.4 ITALY GOVT 330501	国債	4.4000%	2033/05/01	イタリア	4.7%
5	1.625 T-NOTE 260215	国債	1.6250%	2026/02/15	アメリカ	4.3%
6	3.5 T-NOTE 330215	国債	3.5000%	2033/02/15	アメリカ	3.8%
7	1.25 O.A.T 360525	国債	1.2500%	2036/05/25	フランス	3.5%
8	0.8 SPAIN GOVT 290730	国債	0.8000%	2029/07/30	スペイン	3.0%
9	3.625 T-NOTE 300331	国債	3.6250%	2030/03/31	アメリカ	2.9%
10	3.625 T-BOND 530515	国債	3.6250%	2053/05/15	アメリカ	2.6%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運　用　方　針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。
外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

2024年3月29日現在

■資産構成

	評価金額（円）	比率
公社債	0	0.0%
（うち固定債）	(0)	0.0%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	423,432,000,000	62.2%
（うちコールローン）	(354,432,000,000)	52.1%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(69,000,000,000)	10.1%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	257,000,847,555	37.8%
純資産総額	680,432,847,555	100.0%

・固定債：変動利付債以外の債券。

■基準価額および純資産総額

基準価額	10,000円
純資産総額	6,804.33億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	15.7日

■国内（邦価建）公社債（新株予約権付社債（転換債）を除く）明細表

	額面金額（円）	評価金額（円）	残存期間別組入比率			
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上
国債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地方債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	0.0%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■短期金融商品(CP・CD)の格付分布

格付種類	比率
A－1格	0.0%
A－2格	0.0%
A－3格	0.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。